

# 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

2019年度予算案 119百万円  
 (前年度予算額 106百万円)



文部科学省

「登下校防犯プラン」も踏まえ、登下校時の防犯対策を強化するため「地域の連携の場」の構築など、子供の見守り活動の支援を充実するとともに、学校安全ボランティア等を養成・確保し、子供の見守り活動を効果的に実施する仕組みを整備するなど、地域全体での連携体制を強化し、子供の安全を確保する。

学校を核とした地域力強化プランにおいて実施（国庫補助率1/3）

※ 指定都市・中核市の直接実施の場合負担率各2/3 実施主体：都道府県・指定都市・中核市、負担率：都道府県、市町村各1/3

○学校や通学路における子供の安全を確保することが必要  
 ○学校現場はオーバーフロー状態、教職員だけでは安全確保が困難

■地域全体での連携体制を強化

○家庭と地域の関係機関・団体との連携強化  
 ○地域のボランティアを養成・確保して活用

## スクールガード・リーダーの巡回等の強化

### スクールガード・リーダー育成講習会の充実

スクールガード・リーダーとしての資質を備えた人材を継続的に確保するため、学校安全に積極的に取り組んでいた教職員OB等を対象とした育成講習会の開催を支援。(1地域6回開催)

### スクールガード・リーダーの活動支援

警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回し見守り活動のポイントや改善すべき点等の指導・評価やスクールガードに対する指導等の活動を支援。また、学校等の巡回指導等を円滑にするため、スクールガード・リーダーの連絡協議会等の開催を支援。(1700箇所)

## 見守り活動の強化及びスクールガードの養成・支援

### 各地域の子供の見守り活動の強化

通学路や学校での子供の見守り活動の強化を図るため、「登下校防犯プラン」等による防犯活動への支援を充実。(1700箇所)

#### 【活動例】

- ・「地域の連携の場」の構築
- ・登下校時のパトロール
- ・防犯ブザーを児童へ貸与
- ・防犯訓練の実施
- ・通学安全マップ作製
- ・ICTを活用し、関係者間で情報を効果的に共有できる取組の実施

### スクールガードの養成講習会の充実

通学路等で子供たちを見守るスクールガード(学校安全ボランティア)を養成するとともに、最新の安全に関する情報による意識啓発など、資質の向上を図るための養成講習会の開催を支援。(1地域6回開催)

## スクールガード・リーダー

- ・見守り活動のポイントや改善すべき点等の指導・評価
- ・各学校を定期的に巡回

見守り活動のポイントを指導

## スクールガード

- ・学校、家庭、地域が連携
- ・学校内外における見守り活動

「地域の連携の場」の構築など地域全体で見守る体制を強化

